

# ジャンル別アレンジ/サウンドメイク レゲエ、スカ

## スカ、レゲエとは？

- 独立直後のジャマイカでジャズの影響を受けてスカが誕生。爆発的な人気を博し、程なくしてスローテンポなレゲエに変遷し流行。
- クラプトンによるカバーや、ジミークリフの映画のヒットなどに後押しされ世界的に流行。後にロックやたジャンルにも大きな影響を与えた。
- 日本でも80年代以降スカの要素を取り入れたバンドが多くみられた。

# スカ、レゲエの特徴

リズムが特徴のジャンル。

スカは速めのテンポで8分音符の裏にアクセント。オルタネイトでダウンをミュートしながら「ン・チャ・ン・チャ」と歯切れよくプレイ。

レゲエはスカをスローにしたジャンル。  
16分音符も混ぜながら裏に2回ピッキング。  
「ウン・チャカ・ウン・チャカ」と演奏。

# スカ、レゲエのサウンドメイク



ナチュラル&クリーン、歯切れ良さが重要。

レスポールのハーフトーンを使用。ヘッドは最もキレの良いクリーンを出せるTweedDelight、キャビはよりクリアーなJAZZ AMPをチョイス。  
真空管ヘッドにJCのキャビは現実ではありえないが、で音が良ければOK。

BRIGHT側のボリュームを使い歪まないように設定、キャビ側でボリュームを上げる。

# レゲエのアレンジパターン



オーソドックスなレゲエのパターン。

1拍目ウラをオルタネイトで2回、2拍目ウラを1回弾くパターン。

両方2回、あるいは両方1回でも成立するので曲によって使い分けると良い。

# レゲエのアレンジパターン

## 打込みのポイント

実際の演奏では1音1音スタッカートで短く切る傾向があったり、ブリッジミュート気味に弾く傾向があるので、デュレーションは短め、1、3拍目のウラのダウンのみミュートの音色を使い強めに、直後のアップは弱めに打った。リアルな演奏のシミュレートよりは、**音色変化がつくこと**を目指した。

16分のウラは曲によってシャッフルしたりしなかったりするが、いずれの場合もウラはジャストよりかなり遅めに打った方がレゲエらしい。

ダウン／アップに合わせてタイミングをずらすと良い。

休符位置にはミュートやブラッシング音、3拍目ウラ(次のダウンの直前)にはブラッシングを入れた。リアル演奏時にはリズムキープのために入れたりする。さりげなく目立たない音量で打つと良い。

# レゲエのアレンジパターン

ミュート

ブラッシング

ブリッジミュートのキースイッチ

実音のキースイッチ

16分の裏は、かなり遅めに打った方がレゲエっぽさが出る

# スカのアレンジパターン



ノーマルなスカのパターン。

譜面にはないが、オモテ拍にはダウンのブラッシングを入れた。  
リアル演奏ではテンポキープのために入れる事が多い。

# スカのアレンジパターン

## 打込みのポイント

パターン①同様、短めのデュレーションで歯切れよく。  
ウラ拍は全てアップストロークのタイミングですらす。  
テンポが速いのでより大きくずらすと良い。

ブリッジミュートは使わず、実音で。

ベロシティ、デュレーションは人間らしくランダムに。  
アップで先に当たる1弦側が強い傾向になる。

# スカのアレンジパターン

キーエディター - E.Git

グリッド 1/16

ペロシティ

ブラッシング (ダウンストローク) のアーティキュレーション

実音は全てアップストローク  
1弦側をより強めのペロシティで